

1 阪神・淡路大震災、新潟県中越地震を忘れない

みなさんの記憶の中で、2つの地震は、どのようなかたちで残っていますか。

ほとんど薄れてしまっていますか？ それとも、あのとき見た映像や、被災者の声、報道記事などを、今でも覚えていますか？

これを機に、もう一度思い出してみてください。そして、イメージしてみましょう。あのような災害が、もし、私たちのまちに起きたとしたら…。

地震名	地震発生日	マグニチュード	最大震度	死者(人)	行方不明者(人)	負傷者(人)	全壊(棟)	半壊(棟)
阪神・淡路大震災 (兵庫県南部地震)	平成7.1.17	7.3	7	6,433	3	43,792	104,906	274,180
新潟県中越地震	平成16.10.23	6.8	7	59	0	4,805	3,175	13,772

(注) 数値は、いずれも消防庁発表より(阪神・淡路大震災については平成15年12月、新潟県中越地震については平成18年2月)

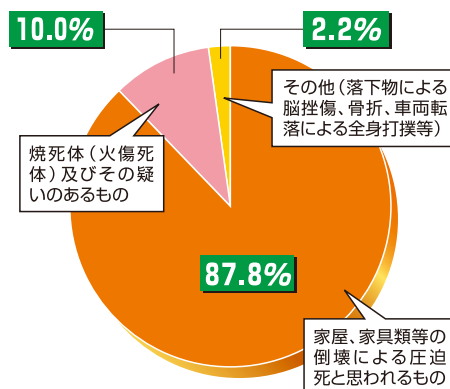


写真提供：共同通信社

阪神・淡路大震災の死者の9割近くが、家屋の倒壊等の下敷きになったことによる窒息死・圧死でした。新潟県中越地震でも、耐震性の低い建物の倒壊が問題になりました。



阪神・淡路大震災における使用者の発生状況
(兵庫・大阪・京都)



飛び出すマンホール、倒れる電信柱、持ち上がる水路…災害は、まちの状況を一変させます。

